

財務諸表に関する注記

1. 重要な会計方針

- (1) 固定資産の減価償却の方法
ソフトウェア・・・定額法によっている。
- (2) 消費税等の会計処理
消費税等の会計処理は、税込方式によっている。

2. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

本注記をもって附属明細書の基本財産及び特定資産の明細に代えるものとする。

(単位:円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
投資有価証券	681,572,738	0	0	681,572,738
特定資産				
定期預金	1,100,000	1,100		1,101,100
健康セミナー事業引当資金	1,000,000			1,000,000
健康情報事業引当資金	300,000			300,000
公益事業共通引当資金	0		0	0
合 計	683,972,738	1,100	0	683,973,838

3. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位:円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味財産 から の充当額)	(うち一般正味財産 からの充当額)	(うち負債に 対応する額)
基本財産				
投資有価証券	681,572,738	681,572,738		
小計	681,572,738	681,572,738	0	0
特定資産				
定期預金	1,101,100		1,101,100	
健康セミナー事業引当資金	1,000,000	1,000,000		
健康情報事業引当資金	300,000	200,000	100,000	
小計	2,401,100	1,200,000	1,201,100	0
合 計	683,973,838	682,772,738	1,201,100	0

4. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

(単位:円)

科 目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
ソフトウェア	416,640	354,248	62,392
合 計	416,640	354,248	62,392